

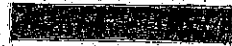
別紙-4

宮代町においてクリーンな選挙を求める請願

〒345-0801 宮代町百間2-2-19

有限会社 まち未来研究所

取締役 金子正志



紹介議員 小河原正



1 趣旨

選挙は政策本位で競い合い、有権者に正しい判断を仰ぐものです。今後、いかなる選挙においても、宮代町民の一票が重んじられるクリーンな選挙が実施されるよう求めるものです。

2 理由

令和5年4月9日(日)投開票の埼玉県議会議員選挙において、立候補者である岡しげお氏(当時は現職埼玉県議会議員、以下、岡氏とする)と、白岡市長藤井栄一郎氏(以下、白岡市長とする)に対する中傷ビラが宮代町の事業所を中心に郵送・配布されました。告示後の選挙期間中に流布されたという事実から、その真偽を確認することができない有権者に対し、なにかしらの影響を与えたいとの思惑があったことは否めません。

中傷ビラに書かれた「白岡市長・岡県議が逮捕」は、半年以上経過した今日に至っても起こっていないことから、全くの虚偽であったことは明白です。

当時、新聞各紙も次々にこの件を報道しました。4月27日は読売・毎日・埼玉の各紙、5月3日は読売新聞、5月5日は毎日新聞。各紙では、宮代町議会議員に対し、白岡市長は虚偽告訴容疑で、また、岡氏は名誉棄損容疑と公職選挙法違反容疑で、各々杉戸警察署へ刑事告訴を行ったと報道しました。そして11月14日付けで書類送検されたとの報道が、読売・埼玉・毎日の各紙により報道されました。

このような行為により、宮代町のイメージは壊されたことは、町にとって由々しき事態です。さらには、宮代町議員による今回の行動は、町民が長年築き上げてきた宮代町のクリーンなイメージや信頼を根底から破壊するものでもあり、決して許されるものではありません。

故に、有権者である宮代町民の一票が重んじられ、今後、いかなる選挙においても、クリーンな選挙が行われることを求めるものです。

以上のことから、地方自治法第124条の規定により請願書を提出します。

資料として新聞報道と、中傷ビラの内容を提出します。

令和5年11月20日

宮代町議会議長 合川泰治 殿

白岡市長、宮代町議 互いを告訴 「傷害」有無巡り

白岡市の藤井栄一郎市長(68)と、隣の宮代町の川野武志町議(68)が、「傷害事件」の有無を巡って互いを刑事告訴する事態になっている。

3月14日、杉戸署に告訴状を出したのは川野氏。訴えによると、2月28日夜に町内の飲食店で藤井氏と出くわし、政治姿勢を巡り口論になった。和解するためには握手しようとして右手を差し出した際、甲に右手の爪を立てて握り返され、全治5日間のけがをしたという。

藤井氏は今月25日、これを虚偽だとして告訴。記者会見も開き、「指一本触れていないし、私は左利きだ」と主張した。また、行政区の総会で「市長が暴力」などと発言したとして、市議1人についても名誉毀損容疑で告訴した。「事件」に絡んで藤井氏を中傷する文書も出回り、同署に嚴重処分を申し入れた。

川野氏は取材で、「文書については知らない。私が告訴したという情報は広まっていた」としている。

両市町は県議選東6区(定数1)の選挙区。今月の選挙で、藤井氏と川野氏は互いに別の候補者を支援していた。

毎日

選挙区に怪文書 名誉毀損で告訴

埼玉県東6区

東6区(白岡市、宮代町)選出の岡重夫県議は26日、記者会見を開き、自身が逮捕されるなどとした怪文書が選挙区内にまかれたとして、容疑者不詳のまま名誉毀損容疑で告訴すると発表した。

岡氏は9日投票の県議選で落選した。同席した弁護士によると、文書は6日ごろ夜間、不特定多数に郵送された。「2月28日、白岡市長が飲食店で宮代町議にけがをさせた。現場にいた人は分かっていると思う」と話した。

【萩原佳孝】

埼玉

統一選で怪文書 「名誉毀損」と反論

藤井白岡市長と岡重夫

統一地方選を巡り怪文書が配付されたとして、藤井栄一郎白岡市長と岡重夫県議が26日、春日部市役所で会見を開き、「公正な選挙活動を妨害し、名誉も毀損する。看過することができない」と述べ、怪文書の内容は事実ではないと反論した。

補に敗れた。同市長も関係者によると、藤井市長と対立候補を支持していた宮代町の川野武志町議が2月28日、同町内の飲食店で口論になったという。岡重夫は藤井市長と共に、現場にいたとされる。

川野町議は別際に握手した時、藤井市長に爪を立てられ、傷害を負ったとして傷害容疑で杉戸署に告訴。怪文書については関与を否定し「こちらも迷惑している」としている。藤井市長は飲食店で川野町議に一切触れていないと主張。川野町議の告訴は虚偽として告訴状を同署に提出。岡重夫は怪文書が名誉毀損に当たるとして同様に告訴する考えを示した。(保坂直人)

2023年(令和5年)5月3日(水曜日)

県議選で中傷文書
前県議が刑事告訴

2町議を名指し

4月の県議選の前後に自身を中傷する文書を配布されたなどとして、東6区(白岡市、宮代町)定数1で落選した前県議の岡重夫氏(70)が2日、対立候補の陣営幹部だった宮代町議2人を名指しし、名誉毀損と公職選挙法違反(虚偽事項の公表)の両容疑で杉戸署に告訴状を提出した。

この文書には「傷害事件」を巡って、岡氏と白岡市の藤井栄一郎市長(68)が「逮捕される」などあった。

「事件」は2月28日夜、藤井市長と岡氏らが同町内の飲食店で出くわした町議の川野武志氏(68)らとトラブルになり、その際に川野氏が藤井市長から暴力を振るわれたというもので、すでに両氏は事実関係を巡って互いを刑事告訴している。

岡氏は、問題の文書が川野氏らによるものだとして告訴。2日に記者会見し、「絶対に許せない」と述べた。一方、川野氏は取材に対し、「文書については知らないし、関与もしていない」と話している。

2023年(令和5年)5月5日(金) 新聞 毎日

県議選中傷文書
岡氏告訴状提出

2町議は関与否定

4月の県議選で、選挙区(東6区)白岡市、宮代町)に中傷文書がまかれたとして、落選した岡重夫・前県議が2日、川野武志・宮代町議、合川泰治・同町議会議長について、名誉毀損と公職選挙法違反(虚偽事項の公表)容疑で杉戸署に告訴状を提出した。川野氏は対立候補の選対幹部だった。いずれも「文書には一切関わっていない」と否定している。

告訴状などによると、岡氏は2月28日夜、藤井栄一郎・白岡市長ら支援者と同町の飲食店に立ち寄った際、川野、合川両氏と偶然出会い、藤井氏と川野氏

が口論になった。

川野氏は3月中旬、「手にけがをさせられた」として藤井氏を傷害容疑で告訴。一方、3月中旬と4月上旬、岡氏が事件に絡んで逮捕されるなど書かれた文書が不特定多数に配布された。

岡氏は「傷害事件そのものが虚偽」とし、2人の告訴について「文書の内容から、何らかの形で作成に関与していることは間違いないと分かったため」と話した。

川野氏は「けがをさせられたことは事実。怪文書には一切関与しておらず、極めて心外だ」。合川氏は「事実無根で憤っている。法的な対応を考えたい」と話した。【萩原佳孝】

白岡市長、宮代町議書類送検

互いを告訴 県警傷害、虚偽告訴容疑で

白岡市の藤井栄一郎市長(69)と隣の宮代町の川野武志町議(68)が、「傷害事件」の有無を巡って互いを刑事告訴していた問題で、県警が13日、藤井氏を傷害容疑で、川野氏を虚偽告訴容疑で、さいたま地検にそれぞれ書類送検したことがわかった。

関係者によると、川野氏は2月28日夜に町内の飲食店で藤井氏と出くわし、握手しようとする差し出した際、甲に右手の爪を立てて握り返され、全治5日間のけがをしたとして、藤井氏を3月に告訴した。一方、藤井氏はこれを虚偽だとして、4月に川野氏を告訴していた。

関係者によると、いずれの容疑も不起訴とされる可能性がある。両市町は県議選東6区(定数1)の選挙区。4月に行われた選挙で、藤井氏と川野氏は互いに別の候補者を支援していた。

白岡市長を書類送検

統一選 巡り口論 市議、宮代町議も

今年春の統一地方選を巡り、宮代町の町議が握手した際、手に傷を負ったなどと白岡市長を刑事告訴した問題で、県警は14日までに、白岡市の藤井栄一郎市長(69)を傷害の疑いで、中川幸広市議(72)を名誉毀損(きそん)の疑いで、宮代町の川野武志町議(68)を虚偽告訴の疑いで、それぞれさいたま地検に書類送検していたことが捜査関係者への取材で分かった。送検はいずれも13日付。

4月に行われた統一地方選の県議選東6区の白岡市と宮代町では、定員1人に2人が

立候補した。同市長や同町議、関係者によると、選挙に先立ち今年2月28日、宮代町内の飲食店で、藤井市長と川野町議が統一地方選の応援を巡り口論になったという。川野町議は口論の後に握手した際、手の甲に傷を負ったとして、3月、同市長を告訴した。同町議からの告訴を受け、同市長は4月に同町議を虚偽告訴の疑いで告訴。また地元集会で「市長が暴力を振るった」という内容の発言をしたとして、中川市議を名誉毀損の疑いで告訴。県警がいずれも告訴を受理していた。

